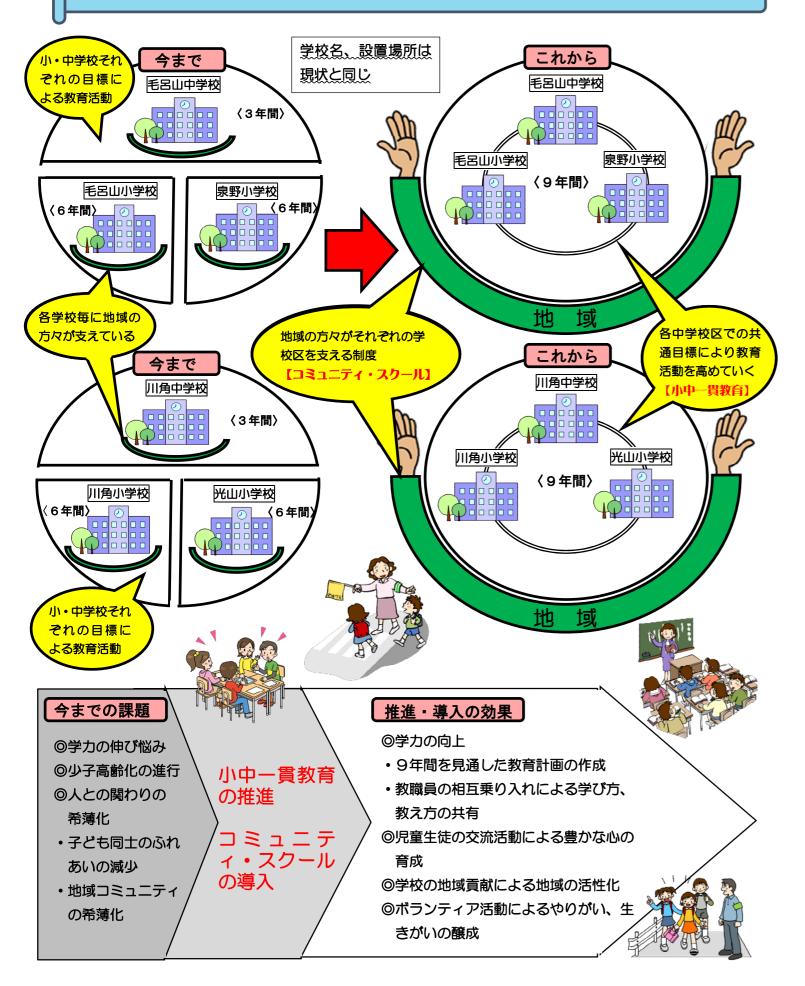
## 小中一貫教育とそれを支えるコミュニティ・スクール





### 未来を拓く人づくり (小中一貫教育) プロジェクト

# コミュニティ・スクール

って何だろう?!

毛呂山町の教育スタイル 『地域をつなぎ「いのち」輝く日本一の学校をめざして』



### 中学校区で地域とつながり、子どもを育てていきます

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置している学校で、教育委員会が指定する学校を指します。コミュニティ・スクールは、学校の課題に対して、広く保護者や地域住民の皆さんが参画し、協働して子どもたちの健やかな成長を支えていくしくみのことです。毛呂山町では平成31年度から毛呂山中学校区と川角中学校区に学校運営協議会を設置します。また、両中学校区を平成31年度からコミュニティ・スクールに指定します。

### コミュニティ・スクールが導入されるとどんなことができるようになるのか

今まで各学校毎に地域との結びつきを強めてきました。この活動を制度化するのがコミュニティ・スクールです。両中学校区にコミュニティ・スクールを導入することで、これまで学校だけでおこなっていた学校運営計画の実行や、学校を取り巻く課題に学校だけで対応するといった、いわゆる「学校任せ」がなくなります。保護者や地域の方々が教育活動や学校の課題について考え、今まで以上に学校と一緒になって、協働で子どもを育てることができるようになります。

### コミュニティ・スクールの2つの機能



### 学校運営協議会による学校運営への参画

#### (1) 学校運営協議会の役割

- ●学校長が作成する学校経営の基本方針を承認します。
- ●学校経営の取組に関する意見を学校や教育委員会に述べることができます。

#### (2) 学校運営協議会の設置によるメリット

#### ① 気づく

保護者、地域のみなさんが学校運営内容をこれまで以上に理解できます。

#### ② 広がる

学校の取組を理解することで、多くの目で子ども たちを見守ることができます。学校を取り巻く様々 な人々とのさらなるつながりが期待できます。また、 学校運営に対し様々な視点からご意見をいただくこ とが可能になります。



#### ③ 手をつなぐ

学校が保護者、地域のみなさんと課題解決へ向けて協議することが可能になります。

多様な知恵と実行力を集結させながら課題を解決し、学校を活性化させます。

#### ④ ともに元気になる

学校の活性化が子どもたちの元気につながります。また、子どもたちの元気が地域を活性化させ、 地域を元気にします。



### 保護者や地域住民の教育活動への参画

保護者・地域の皆さんが教育活動に「地域の先生」として参加したり、行事や体験活動 などに「ボランティア」として協力するなど「チーム学校」として子どもたちを育てます。

- (1)「地域の人材」を生かした授業の実施
- (2)体験学習の一層の充実
- (3) 地域の皆さんの経験を生かす授業の実施

保護者や地域の皆さんの協力を得ることで、多様 な教育活動ができるとともに、先生方が子どもと向 き合うことができる時間が増えます。



### コミュニティ・スクールの4つの魅力

#### 子どもたちにとっての魅力

- ○学びや体験活動が充実します。
- ○自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- ○地域の担い手としての自覚が高まります。
- ○防犯・防災等の対策によって安心・安全な生 活ができます。

#### 保護者にとっての魅力

- ○学校や地域に対する理解が深まります。
- ○地域の中で子どもたちが育てられているという安心感をもてます。
- ○保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

#### 教職員にとっての魅力

- ○地域の人々の理解と協力を得た学校運営が 実現します。
- ○地域人材を活用した教育活動が充実します。
- ○地域の協力により子どもたちと向き合う時間 が確保できます。

### 地域の方にとっての魅力

- ○経験を生かすことで生きがいや自己有用感 につながります。
- ○学校が社会的つながり、地域のよりどころと なります。
- ○学校を中心とした地域ネットワークが形成されます。

### Q&A

## 学校運営協議会委員には どんな人がなるの?

保護者や地域住民、指定学校の校 長、学識経験者などのなかから教育委 員会が委嘱又は任命します。各中学校区の協 議会は12名の委員から構成されます。



#### 学校は統合されてしまうの?

学校運営協議会は、学校と地域の協力体制を今まで以上に強くするしくみであり、コミュニティ・スクールの導入は、学校の統合と直接的に関係しません。